

令和3年4月1日付け 知事部局人事異動について

県政の諸課題に対応するための組織改正に併せて、適材適所による人事体制を整備した。

○令和2年4月異動：878人 → 令和3年4月異動：887人

※異動規模は近年900人前後で推移（H29年4月：887人、H30年4月：869人、H31年4月+7月：866人）

(1) 女性管理職日本一の水準がさらにアップ

○女性活躍における全国の最先進県として、統轄監をはじめ、新たに交流人口拡大本部長、地域づくり推進部長、総合事務センター所長、市場開拓局長の職に女性職員を配置するなど、本庁管理職の男女共同参画を進め、県政の主要施策を推進する。

○統轄監への保健師の配置は県政初。

〔女性管理職員(部次長級)の主な異動〕

◆統轄監兼新型コロナウイルス感染症対策本部事務局長	植木 芳美（部長級）現 福祉保健部理事監兼健康医療局長
◆交流人口拡大本部長	中原 美由紀（部長級）現 関西本部長
◆地域づくり推進部長	木本 美喜（部長級）現 子育て・人財局長
◆子育て・人財局長	中西 朱実（次長級）現 暮らしの安心局長
◆総合事務センター所長兼庶務集中課長	鈴木 由香利（次長級）現 統括審査課長
◆市場開拓局長	岸田 絵理子（次長級）現 食のみやこ推進課長

〔女性管理職割合〕

令和2年4月現在：20.9%（全国第1位）⇒ 令和3年4月（速報）22.0% 内閣府公表ベース
全国一位であった前年度の水準がさらにアップし、女性活躍の場が拡大。

※知事部局、病院局、教育委員会（学校の教員を除く）、各種委員会、警察本部を含む県全体

※内閣府は、都道府県の女性管理職の割合を公表しており、例年、4月の状況を当該年度の12月に公表

（参考）知事部局の部長級職員の女性割合：27.8%⇒33.3%（5名→6名）

次長級職員の女性割合：18.5%⇒22.0%（10名→11名）

(2) 県政の主要課題への対応

① 新型コロナウイルス感染症に立ち向かうための全庁体制の構築

《新型コロナウイルス感染症対策本部事務局の部次長級職員》

◆統轄監 兼新型コロナウイルス感染症対策本部事務局長	植木 芳美（部長級） 現 福祉保健部理事監兼健康医療局長（再掲）
◆新型コロナウイルス感染症対策本部事務局次長 兼政策戦略監	若松 紀樹（次長級）現 政策戦略監
◆新型コロナウイルス感染症対策本部事務局次長 兼クラスター対策監	住田 剛彦（次長級）現 生活環境部次長 兼環境立県推進課長

② デジタル社会の実現に向けた体制の強化

◆総務部デジタル戦略監兼情報政策課長 森田 厚史（次長級）現 市町村課長

③ 家畜防疫対策の強化と鳥取和牛の保護及びさらなる振興のための体制の整備

◆畜産振興局長 岡垣 敏生（次長級）（獣医師）現 農業振興戦略監